

鳥栖中校区 小中一貫だより 第2号

鳥栖中 ・ 鳥栖小 ・ 鳥栖北小

令和7年1月8日

鳥栖中校区3校では、小中連携で、小中合同の研究を行っています。下記が研究テーマです。

研究テーマ 『心豊かで、たくましく、自ら学ぶ"とすっ子"の育成』

今年度、「学びつくり部」・「生活つくり部」・「仲間つくり部」・「特別支援教育部」の4部会を組織し、小中合同で研究を進め

ています。 第2号では、4部会の取組についてお知らせいたします。

学びつくり部

鳥栖中学校の取り組み

今年度、鳥栖中学校の学びつくり部では、

①全職員が、「google form」を使えるようになること

②全職員が、1人1台端末を活用した授業を実践できるように、アプリや方法を集約し、教材研究を効率的にできるようにすること

を目標に取組を行っています。

夏季休業中の研修では、基礎的な「google form」の活用方法を確認し、実際にアンケートや小テストを作成しました。

9月には、代表者による「google form」を利用した授業を参観しました。また、10月には、全職員が「google form」を活用した授業を実施し、相互参観を行いました。授業後は、参観者の感想や意見を集約して授業者に渡し、「google form」に対する理解を深めました。

学習の約束

現在3校全てのクラスに「学習の約束」を掲示しており、発達段階 に応じて共通指導・実践を行っています。学年が上がり担任が替わっ ても、中学校に進学しても、同じ内容で学習規律の指導ができるよ うにしています。今年度、「学習の約束」の見直しを行っています。









仲間つくり部

○「なくそういじめ」子ども会議

9月30日(月)に、市内の小中学校の代表の児童生徒が鳥栖市役所に集まって「なくそういじめ」子ども会議を行いました。鳥栖小、鳥栖北小、鳥栖中では各校の人権問題に関する取組を発表した後、「最近のいじめ」について話し合いました。最近はネットによるいじめが増えているため、文章を相手に送る前に一度読み直して、相手に嫌な気持ちがしないか考えて送るようにすることが大切だ、という結論になりました。その後、「いじめのない学校づくりこども宣言」を作りました。各校の今後の取組に生かしていきたいと思います。

○小中合同あいさつ運動

9月25日(水)の登校時間に鳥栖中の生徒が 出身小学校に行き、小中合同のあいさつ運動 を行いました。制服姿の先輩に、いつもより大 きな声で「おはようございます」という小学生、 優しく笑顔で応えてくれる中学生。爽やかで温 かい時間となりました。



○人権標語の交換掲示

各校で人権について学習した後、人権標語作りに取り組みました。作成した標語は、3校で共有し廊下に掲示しています。隣の小学校の友達や中学校の先輩が書いた「人を思いやる温かい言葉」に、多くの子どもたちが足を止め、みんなの標語を読む姿が見られます。

生活つくり部

小学校では、中学校の定期テスト期間に合わせて生活リズムアップ大作戦(1週間)を行いました。子どもたちは、いつも以上に時間を意識して生活や勉強を頑張ったように感じました。ご家庭からのコメントには、「去年より頑張りました」「生活リズムアップ大作戦を続けていきましょう」等、生活をよりよくする機会とする前向きな内容が多かったです。また、「早寝をもう少し頑張ろう」など、自分の生活を見直すコメントも見られました。「早寝・早起き・朝ご飯」は鳥栖市

では重要ポイントとして考えています。学年が上がるにつれ、部活や習い事等で帰りが遅くなることもあるかもしれませんが、この3つを生活のリズムづくりの基本にして大切にしていただければと思います。冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。新しい年を迎え、心機一転、生活リズムを整えて、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

3学期も中学校の期末テスト期間に合わせて行う予定です。お子さんと話をされながら1,2学期よりもさらに改善できるように取り組んでいただけたらと思います。



特別支援教育部

「特別支援学級授業参観」「保護者説明会」

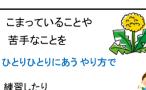
鳥栖中学校で、11月に5.6年生保護者や児童対象の「特別支援学級授業参観」を行いました。実際に中学校の教室や授業の様子を見学することで、中学校生活のイメージがつかめ、進学後のことについて検討する機会になったようです。5年生にも参加してもらうことで、早くから中学校に向けての意識を持ち、時間をかけて進路のことを考えていけるようになっています。また、1月には「保護者説明会」も予定しています。

「なかよし交流会」

1月に、「なかよし交流会」を行う予定です。「なかよし交流会」は、小学校の特別支援学級の児童が中学校での学校生活をよりスムーズにスタートできるように、毎年開催されています。鳥栖小と鳥栖北小の6年生、鳥栖中の1年生が、身近な仲間作りを目標にレクリエーションを行っています。昨年度も児童生徒が、自己紹介をしたり、協力してレクリエーションを行ったりして、交流を深めることができました。中学生への質問コーナーもあり、勉強や部活動のことなど、中学校での生活の様子を聞くことができました。中学校への期待感の高まるとてもいい交流会です。

「障害への理解の推進」

全校児童生徒への「特別支援学級・通級指導教室」に関する紹介を、児童生徒の発達段階に応じて資料等を使って実施し、障害への理解の推進を勧めています。



勉強したり するところ